

事務事業評価シート(平成20年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
03205	生活環境調査事業	住民税務課	生活環境係	林 龍太郎	赤羽 博
		一次評価年月日	平成 21 年 7 月 2 日	連絡先(内線)	2112
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0404	環境衛生事業	
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)		1章	美しく豊かな自然環境
		節 (コード選択)		4節	地方分権化に積極的に対応する
		項[基本施策] (コード選択)		142	公害のないまちづくり
		主な取り組み (コード選択)		1421	生活環境調査(騒音・振動測定等)の実施
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町の環境全般

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

自動車騒音・振動測定及び地下水水質測定を実施し、町の環境状況を把握するため

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 主要道路の騒音・振動測定、自動車道の騒音測定及び町内6地区の地下水水質測定
- 県機関と連携を図りながら事業所等への立入検査及び改善指導の実施。
- 公害苦情が寄せられる事業所への啓発指導(立入調査)等の実施。
-

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	騒音・振動及び地下水水質測定の実施箇所数		24	9	25	25
	説明	主要道路(3箇所)、中央道(16箇所)地下水水質測定(H17=5地区、H18より6地区)		目標値設定の根拠 実績数値			
②	指標名	公害苦情が寄せられた事業所への立入調査件数		13	5	10	10
	説明	事業所等への立入調査件数(1事業所1件)		目標値設定の根拠 実績数値			

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		19年度	20年度	21年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名	環境基準等の数値を超過した件数		0	0	0	0
	説明	関係法令で環境基準が法で定められている。その基準を超過した件数		目標値設定の根拠 環境基準値以下の環境が望ましい。			
②	指標名	立入調査のうち県機関が改善指導を行った件数		2	2	2	2
	説明	苦情(公害)内容によっては、県が掌握する部門もある。県と同行し現地確認を実施		目標値設定の根拠 立入調査を行う事業が無いのが望ましい。			

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度見込み	平成22年度見込み															
対前年比		%		104	99.8	100															
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)																					
B) 一般財源(税金)																					
①事業費		(千円)	60	72	72	72															
対前年比		%		120	100	100															
②人件費の概算		(千円)	214	213	213	213															
対前年比		%		99.5	99.8	100															
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費										
			H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22						
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.03	0.03	0.03	0.03	214	213	213	213
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									0	0	0	0						

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

今後も騒音・振動測定、水質測定を継続実施することで環境の変化を察知する。町民からの苦情を迅速に処理し、精神的な苦痛を和らげるようにする。

21年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

騒音、振動測定及び地下水等の水質測定のデータをどう活用して生活環境を良くしていく活動につなげて行くのか。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

➡ 上記 a~e を選択